

# アフリカ音楽にわくわく

## 鶴尾小児童 コラボ演奏も



アフリカの伝統音楽に耳を傾ける児童たち  
—高松市松並町、鶴尾小

高松市松並町の鶴尾小学校（田中義人校長）で、アフリカン音楽グループによる演奏会があり、児童たちは、会場いっぱい響き渡る民俗楽器の音色やリズムカルな演奏に耳を傾け、アフリカの伝統音楽の魅力に触れた。

演奏会は、文化庁の「文化芸術による子供育成総合事業」の一環。関西を拠点に全国各地で演奏活動を展開する「NKOSI AF RICA」のメンバー4人が訪れ、10月19日に開催した。体育館で行われた演奏会

には、全校生約140人が参加。メンバーたちがドラム、マリンバなどのアフリカの伝統楽器を用い、民俗音楽やオリジナル曲計7曲を披露した。児童たちは曲に合わせて手拍子を打ったり、体を揺らしたりしながらエネルギー溢れる演奏を満喫していた。

同校伝統の「鶴尾太鼓」とコラボレーションした演奏もあり、6年生28人が、メンバーの奏でるドラムの音との重なりを楽しみながら、元気よく和太鼓を打ち鳴らした。

6年の浜田楓希君(12)は「見たことのない楽器ばかり。たたき方で音が変わるのに驚いた」と語り、同、有岡愛彩さん(11)は「いろいろな楽器の音の重なりがきれいで、心がわくわくした」と話した。